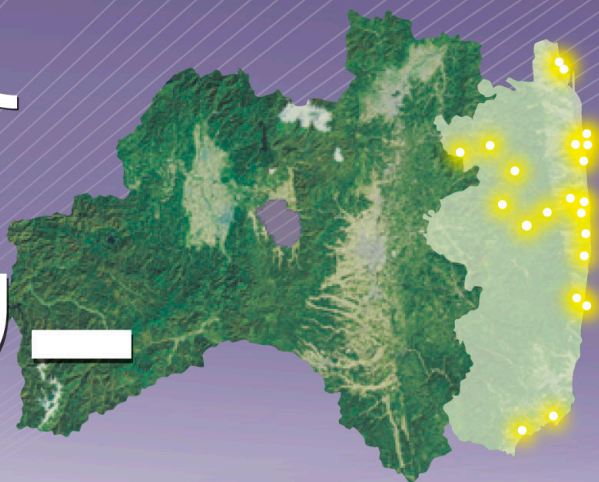


福島イノベーション・コースト構想 加速化する復興！ 一歩先の未来へ！

福島イノベーション・コースト 企業立地セミナー 現地見学ツアー



復興が進み、立地環境が大きく向上する福島県浜通り地域等
15市町村*の産業用地、生活環境、国内随一の充実した
優遇制度等を紹介するツアーを以下のとおり開催いたします。

*福島県浜通り地域等15市町村：いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、
富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村

福島イノベーション・コースト構想とは

福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害によって失われた福島県浜通り地域等の産業を回復するため、当地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。

2019年 **5/21** 火 ~ **22** 水 1泊2日 (現地集合・解散)

集合場所	JR常磐線「富岡駅」 5/21(火) 10:10	解散場所	福島駅 5/22(水) 18:00(予定)
主な見学場所	■富岡産業団地 ■中野地区復興産業拠点 ■ふたば医療センター附属病院	■Jヴィレッジ ■田ノ入工業団地 ■フォーアールエナジー株式会社 等	
宿泊先	Jヴィレッジ ※事務局にて宿泊の手配をいたします		

※ツアーの行程および宿泊先については変更になる場合がございます。
※応募人数が少ない場合、ツアーが中止となる場合がございますのでご了承ください。

詳しい行程は、裏面をご覧ください▷

申込締切

4/24(水) 17:00まで

視察先

産業用地、商業施設、教育・医療機関、産業に資する各種施設 等

参加対象

当該地域への立地に関心がある企業経営者 等

定員

20名 ※定員になり次第締切とします。

申込方法

インターネット応募フォームによる事前申込制

※ツアー参加の目的、業種をお伺いし、参加をお断りすることがございます。(他のツアー参加事業者に対する営業活動を目的とするような場合など)

参加費

無料 (往復の交通費、前泊、後泊の宿泊費及び情報交換会(交流会)は自己負担となります。)

(主催) 福島県、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 (共催) 経済産業省

●お問い合わせは下記事務局まで。詳細な行程およびお申込方法については、下記ホームページ等をご確認ください。

(お問い合わせ) 公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部(担当/小針)

TEL 024-581-6890

FAX 024-581-6898

E-mail t.kobari@fipo.or.jp

●ホームページ

<https://www.fipo.or.jp/recruitment/2275>

行程表

1日目
5月21日(火)

富岡駅
【集合】10:10

富岡産業団地

大熊町 大川原地区視察

双葉町中野地区
復興産業拠点

ふたば医療センター
附属病院

Jヴィレッジ

2日目
5月22日(水)

Jヴィレッジ

廃炉資料館

田ノ入工業団地

フォーアールエナジー株式会社

福島駅
【解散】18:00(予定)

※行程は変更になる場合がありますので、その旨ご了承ください。

主な見学先の概要



富岡町

1 富岡産業団地

- 供用可能面積 / 約22ha
- 賃料 / 200円/㎡(年間)
※供用開始から10年間は
賃料:100円/㎡(年間)
- 交通 / 国道6号線隣接
常磐自動車道 常磐富岡IC:約8km
- 特色 / 豊富な工業用水(約1,000t/日)
- 供用開始(一部) / 平成31年度末(予定)



双葉町

2 双葉町中野地区復興産業拠点

- 供用可能面積 / 14.3ha(第1期工区全体)
7.5ha(第2期工区全体)
12.7ha(第3期工区全体)
- 賃料 / 150円/㎡(年間)
- 交通 / 国道6号線まで約1.5km
常磐自動車道双葉IC(仮称)まで
約6km
- 特色 / 中間貯蔵施設に隣接し、福島第一
原子力発電所まで約4km
- 供用開始(予定) / 平成31年2月(一部)



川内村

3 田ノ入工業団地

- 供用可能面積 / 5.7ha
- 賃料 / 300円/㎡(年間)
※賃料3年間免除
- 交通 / 常磐自動車道 常磐富岡IC17km
- 特色 / 工業用地内に社宅用地も整備
(175円/㎡(年間))
- 供用開始年度 / 平成29年度(募集中)



富岡町

4 ふたば医療センター附属病院

双葉郡内の2次救急医療の再生拠点として2018年4月に開院。福島県立医科大学のバックアップのもと、24時間365日対応の救急医療や、在宅診療などの医療サービスの提供を行っている。



浪江町

5 フォーアールエナジー株式会社

震災後に浪江町藤橋産業団地へ進出。日産自動車の「技術開発」、住友商事の「市場開拓」、それぞれの強みを生かし、車載用リチウムイオンバッテリーの二次利用技術の開発および製造販売の事業化を実施。

